

平成29年3月8日

掛川市長 松井三郎 様

掛 川 市 議 会
議長 竹 嶋 善 彦

政 策 提 言

掛川市議会は、市民の付託に応えるべく、市民参加の機会の拡充や政策立案機能を強化するため、議会報告会と政策討論会を開催し、議会報告会で市民から出された多様な意見を基に、安全で安心できる社会、誰もが住みたくなるまちづくりの実現のために、政策討論を重ねて参りました。

今年度の議会報告会のテーマを「お達者度日本一を目指して」として、市民の皆さんと意見交換を重ねて参りました結果を基に、議会として、現状と基本認識を共有するために、行政側のご意見も聞かせていただきながら今後の対策について政策討論会において討論を重ね、この度、「健康日本一に向けて」という政策提言に取りまとめました。

市長におかれましては内容を十分ご理解いただき、行政に反映されますことを切に要望します。

政 策 提 言 書

平成29年 3 月 8 日 (水)

掛 川 市 議 会

健康日本一に向けての提言

はじめに

平成28年3月に議員発議により「掛川市健康医療基本条例」が制定され、これをもとに市議会議長から掛川市長へ健康長寿実現のための提言を行い、その後、健康診断機器の設置、人生設計ノートの作成、在宅医療推進員設置などの施策が展開されています。

しかしながら、掛川市民の健康で豊かな実りある生活や健康長寿及びお達者度向上に関する各施策は、まだまだ道半ばの状況であります。

議会では、市民の健康は掛川市の最重要課題の一つとして位置づけ、議会報告会の市民意見をもとに、より多くの市民が健康であり続け、生きがいを持って生活ができるよう、更なる施策を推進し、「市民全体」で健康増進、お達者度向上に取り組むよう次の4点について提言いたします。

1 検診率の向上について

- (1) 受診者に特典サービス等の提供を行うことや、民間事業者と協力して検診率向上のPRに努めること。
- (2) 各種検診の検診率は、市民にわかりやすい統一的基準のもとに情報提供すること。

2 健康増進プログラムについて

- (1) 健康増進に関するプログラムは様々な機関で行われ、それぞれが情報発信されているが、市民に分かりやすい情報となるよう関係機関で検討、調整すること。
- (2) 民間企業等とまちづくり協議会との協働により、多くの市民に楽しく参加してもらえよう魅力あるプログラムを検討すること。

3 健康意識、自己管理意識の向上について

- (1) 健康づくり実践事業所認定制度を見直し、中小零細企業にまで広め、より多くの働く世代の健康意識向上につなげること。
- (2) 健康は幼い時からの積み重ねが大切であり、幼児から高齢者まで生涯を通して健康意識を持てるような仕組みと啓発活動を実施すること。
- (3) 自己の健康状態が簡易に把握できる健康測定機器の利用を勧め、市民の健康管理意識の向上を図ること。

4 行政組織体制の充実について

- (1) 健康日本一を目指すため、事業執行体制の一層の充実を図ること。